

日本のあたりまえは、 世界のアタリマエ？

小学校・3年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）

＝【人権感覚育成のための視点】

日本と世界の食材や料理を比較して、食材や料理にはそれぞれの国の文化的な背景があることを知り、他国の文化も尊重しようとする態度を育てる。

2 関連する教科等について

○学級活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

（イ よりよい人間関係の形成）

（エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成）

※総合的な学習の時間での実施も可能

3 人権教育上の視点

（1） 食材や料理に優劣を付けず、他国の食文化の理解に努め、進んで多文化共生を推進しようとする姿勢を身に付けている。（価値・態度）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

様々な国の料理の写真を見て思ったことや気付いたことを話し合う。どこの国の料理なのか、どんな食材を使っているのかを知り、世界にはいろいろな料理があることに気付く。

○活動2

日本の料理や食材を食べない国がある理由について、個人で考えてから、グループで話し合う。活動を振り返り、思ったことや考えたことなどを意見交換する。

2 準備するもの

○世界各地の料理や食材の写真

○世界地図

○ワークシート

3 アクティビティの進め方

○活動1 「世界の食べ物って？」

- ① いろいろな国の料理の写真を見る。
- ② 写真を見て思ったことや気付いたことを話し合う。
- ③ どこの国の料理なのか、どんな食材を使っているのかを知る。
- ④ 写真の他にも、世界にはいろいろな料理や食材があることを知る。

○活動2 「日本の食べ物って？」

- ① 日本の料理や食材を食べない国がある理由について考え、個人でワークシートに記入する。
- ② 記入したワークシートをもとに、グループで日本の料理や食材を食べない国がある理由について話し合う。
- ③ 学習を振り返り、思ったことや考えたことの意見交換をする。

4 アクティビティを指導する際のポイント

- 自然の恩恵への感謝、食文化、食料事情等とも関連付けて指導することで、自国だけでなく、他国の文化も尊重しようとする姿勢を身に付けさせる。
- 文化・宗教・環境等の背景について丁寧に説明し、国の料理や食材の違いが文化の優劣に結び付かないように注意する。
- 学級活動の内容（2）エとの関連を深める上では、「日本の食べ物の例」に給食のメニューを取り扱うことも考えられる。児童や給食の実態に応じて例を変更してもよい。（例）すき焼き風煮、豚汁、肉じゃがなど。
- 総合的な学習の時間等で国際理解の学習の計画があれば、文化交流や言語交流などと合わせて、実際に外国の人と触れ合いながら実施すると効果的である。

III 授業の実際

時間	学習活動		教師の働きかけ（・） 人権教育上の配慮（◎）
	発問（T）	児童の反応例（C）	
3分	1	活動への意識付け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の緊張を和らげるとともに、身近な食べ物に対する関心を高める。
	T	みなさんの好きな給食は何ですか。	
	C	ハンバーグ。	
	C	から揚げ。	
	C	カレーライス。	

27分

2 世界の料理と食材

世界の食べ物にはどんなものがあるのでしょうか

T これらの写真は、世界の国で食べられている料理です。この料理を見て思ったことや気付いたことはありますか。

- C 初めて見るけれど、おいしそう。
- C 肉かな、魚かな。
- C 材料は何かな。
- C どこの国の料理だろう。

T これは、トナカイのステーキです。トナカイというと、クリスマスイメージする人が多いのではないのでしょうか。日本では珍しい動物で、日本人には食べるという感覚はないかもしれません。しかし、とても寒く、冬が長い北欧では、野菜が育ちにくく、トナカイの肉は貴重なタンパクやビタミンの源となっているそうです。

C 日本では食べないから驚いたけれど、貴重な栄養になっているんだね。

- ・いろいろな国の料理の写真を黒板に提示する。
- ・日本ではあまり食べられない食材で、児童の興味や食欲をそそる料理の写真を掲示する。

《世界の料理の例》

- ・エスカルゴ（フランス）
- ・ツバメの巣のスープ（中国）
- ・トナカイのステーキ（フィンランド・ノルウェーなど）
- ・サボテンのサラダ（メキシコ）

※「世界の料理や食材について」を参照。

- ・環境や文化的な背景などを丁寧に説明し、国の料理や食材の違いが文化の優劣に結び付かないようにする。
- ・それぞれの国の位置を世界地図で確認する。
- ・写真で見せた料理の他にも、世界には様々な食材があることを伝える。

3 日本の料理と食材

日本の食べ物は世界でも食べられているのでしょうか

T 次に、日本の食べ物について考えます。日本人にとっては、あたり前の食べ物ですが、これらを食べる習慣のない国もあります。どうしてでしょうか。

T グループになって、理由を話し合しましょう。

C 生で食べる習慣がないって聞いたことがあるよ。

C 納豆は、においとねばねばが嫌なのではないかな。日本人でも、苦手な人がいるよね。

- ・日本の料理や食材の写真を黒板に提示する。

《日本の食べ物の例》

- ・刺身 ・生卵 ・納豆 ・梅干

- ・ワークシートに記入したことをもとに、グループで話し合わせる。
- ◎食習慣の違いには、それぞれ尊重されるべき文化的な背景等があることに気付かせるため、相手の国の立場に立って理由を考えるように助言する。（価値・態度）

	<p>C 食べてはいけない物がある国があるって聞いたことがあるよ。</p> <p>C 日本は、海に囲まれているから新鮮な魚が食べられるけれど、新鮮ではない魚を生で食べるとおなかをこわしちゃうからかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童から出された意見を尊重しながら、国や地域、宗教などで育まれた食文化には、共通する食べ物の習慣や食のタブーなどがあることを知らせる。 <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全面や衛生面での認識が日本とは異なり、食中毒の危険性から「生食=危険」と考えられ、火を通すことが当たり前になっている。 ・日本では、食材の味を楽しむ料理が好まれる。 ・宗教によっては食べられない食材がある。
15分	<p>4 振り返り</p> <p>T 今日の学習をしてみて、思ったことや考えたことを書きましよう。</p> <p>C 国によって食べる物や考え方も違うのだな。もっと、たくさんの国のことを知りたいな。</p>	<p>◎自国や他国の食文化に関心を持ち、それぞれの違いを受け入れて、大切にしようという気持ちを深めるため、ねらいに沿った感想を取り上げ、称賛する。(価値・態度)</p>

IV 資料

(1) 世界の料理や食材について (教師用の参考資料)

(トナカイ料理)

北欧は、冬が長く、年間を通じて日照時間が短いため、耕作には向かない地域です。この地域では、高タンパクでビタミンが豊富なトナカイの肉が、生活と切り離せない食材として扱われてきました。トナカイの肉は、脂肪が少ないため、冷凍して長く保存することができます。冬には、外気温ですぐに肉が凍るので屋根の上や小屋、その上などで保存します。春には、肉を乾燥させて干し肉をつくり保存食とします。また、肉だけでなく、内臓やビタミンを含む血液も無駄なく食材として利用されています。

トナカイの肉は、ステーキにしたり、スライスして炒めたり、ミンチにしてピロシキにしたり、シチューにしたりと、いろいろな食べ方があります。

(エスカルゴ料理)

エスカルゴとは、食用カタツムリのことです。日本で梅雨の時期によく見られるカタツムリとは種類が異なります。

エスカルゴは、フランス料理の食材です。バターににんにく、パセリを混ぜたエスカルゴバターと共に、オーブンで焼くのが一番ポピュラーな調理方法です。

古代ローマの頃から食べられており、養殖もされていたと言われていました。美食家が絶賛し、この伝統がフランスに伝えられました。フランス料理の食材として用いられるようになったのは、18世紀ごろと言われていました。

(サボテン料理)

メキシコでは、古くから健康野菜としてノパル (Nopal) が食べられています。ノパルとは、ウチワサボテンの若い茎節のことです。降水量の少ない土地で、乾燥や寒暖の温度差に負けない強い生命力があります。

ノパルは、生でサラダとしても食べられますが、茹でたり、焼いたり、炒めたりするなど、いろいろな調理方法があります。

ノパルは、カルシウムや食物繊維などが豊富で栄養価が高く、生命を支える貴重な食物として珍重された大切な栄養源です。

メキシコの国旗にノパルがデザインされていることから、メキシコにとって馴染み深いものだと言えるでしょう。

(ツバメの巣)

中華料理で高級食材の一つにツバメの巣があります。日本で春先によく見られるツバメとは種類が異なる「アナツバメ」の巣です。

日本でよく見られるツバメの巣は、家の軒下などに木の枝や泥を材料にして作られており、この巣を食べることはできません。アナツバメは、海沿いの崖にある洞窟に、自らの唾液を主原料として巣を作ります。巣の色は、白く半透明です。

ツバメの巣は、主にスープやデザート of 食材として使われています。中国では、古くから美容と健康の源として、珍重されてきました。西太后 (1835-1908) は、美容のために毎日食べていたと言われていました。

(2) ワークシート

日本のあたりまえは、世界のアタリマエ？

名前 ()

- 1 日本では食べられているものが、他の国では食べられていないことがあります。そのわけを考えましょう。

「さしみ」を食べない国があるのはなぜだろう。

「生たまご」を食べない国があるのはなぜだろう。

「なっとう」を食べない国があるのはなぜだろう。

- 2 今日の学習をふりかえって、思ったことや考えたことを書きましょう。

男らしさ、 女らしさってなんだろう？

小学校・4～6年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）

＝【人権感覚育成のための視点】

性差に関する固定的な思い込みに気づき、性のあり方は多様であることを理解することを通して、他者のあり方を尊重しようとする態度を育成する。

◇関連する個別の人権課題「様々な人権問題（性同一性障害をはじめとした性的マイノリティ）」

2 関連する教科等について

○学級活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（イ よりよい人間関係の形成）

3 人権教育上の視点

（1）性のあり方などは多様であり、人によって違うことを理解する。
（知識）

（2）社会の中にある固定的な思い込みや先入観に気づき、その人のあり方や価値観の多様性を大切にしようとする。（価値・態度）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

男の子、女の子のそれぞれ好きそうな色と、実際のクラスでの調査結果を比較する。

○活動2

「男の子のよさ」「女の子のよさ」について考え、意見交換をする。

○活動3

本時の学習を振り返るとともに、「性のものさし」で自分自身を振り返る。

2 準備するもの

○ワークシート1、2

○「好きなにじの色は？」クラス調査結果（事前に調査し結果をまとめておく）

○提示資料（性のものさし）

3 アクティビティの進め方

○活動1 「好きなにじの色は？」

- ① ワークシート1について、男の子、女の子それぞれの吹き出しを完成する。
- ② ワークシート1の意見発表後、事前に行ったクラスの「好きなにじの色は？」の調査結果を提示し、比較する。

○活動2 「男らしさ、女らしさってなんだろう？」

- ① 個人でワークシート2「男らしさ、女らしさってなんだろう？」に取り組む。
- ② グループでワークシート2について、意見を交換する。
- ③ 男女それぞれの「らしさ」が入れ替わっても違和感のないものがあることを確認する。

○活動3 「振り返り」

- ① 性のあり方は多様であり、人によって違うことを理解する。

○活動4 「性のものさし」

- ① 「性のものさし」を用いて、自分はどの位置にいるのかを確認する。

4 アクティビティを指導する際のポイント

- 性のあり方の多様性を尊重する学習を通して、文化や価値観の多様性を尊重し、共生しようとする姿勢を育むため、性のあり方だけにとどまらず、児童が多様性を尊重できる考え方を広げていけるように心がける。
- 「男の子のよさ」「女の子のよさ」をそれぞれ考える際、例えば「男の子のよさは、元気なこと」を「女の子のよさは、元気なこと」にするなど、具体的に置き換えることで、性差に関する固定的な思い込みに気付かせ、一人一人の個性や能力を発揮して自らの意思で行動できることをおさえる。
- 最後の「性のものさし」は、自分はどの位置にいるのか分からない、秘匿にしたい児童もいる。また、指導する教師も同様である。「性のものさし」の例示については、特定の児童や教師ではなく、架空の人物とする。また、友達「性のものさし」について聞いたり推測したりしないよう指導する。

(例)

からだの性	女						男
こころの性	女						男
表現する性	女						男
好きになる性	女						男

自分はどこに位置しているか、その目盛の位置を心の中で確認します。

- 例えば、年度の半ば以降など学級の人間関係が構築された時期や、体育の「体の発育・発達」の学習の時期などに実施すると効果的である。

第1章 理論編
 第2章 事例編
 人間の尊厳
 生命尊重
 自己尊重の感情
 共感と連帯感
 公平・公正
 多様性の尊重・共生
 コミュニケーション
 権利と責任
 参加・参画
 第3章 資料編

Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 児童の反応例 (C)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
8分	1 好きな虹の色についての協議 T 好きな虹の色を答える話を完成させましょう。 C 男の子／女の子は○色かな。 T 今、ワークシートに書いた色と、クラスの男女別「好きなにじの色」の調査結果を比べましょう。 C 男の子は青が好き、女の子は赤が好きと書いたけれど、クラスの結果は違う。	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ男の子／女の子は○色が好きなのか理由を尋ね、固定的な性へのイメージを明確にする。 ・固定的な性へのイメージと実際のクラスの調査結果には差があり、好きな色に男女という性は関係ないことを確認する。
男らしさ、女らしさってなんだろう？		
25分	2 男の子のよさと女の子のよさ T あなたが思う「男の子のよさ」「女の子のよさ」について、自由に書いてみましょう。 C 男の子のよさは、外で遊ぶこと。 C 女の子のよさは、文字をきれいに書けること。 3 グループでの話し合い T 男らしさ、女らしさについて、自分が感じたことをグループで発表し、意見を交換しましょう。 C ボール遊びを元気にすることが、男の子のよさだと思う。 C 女の子だってボールで遊ぶよ。○くんも○さんも同じチームで野球をやっているよ。 4 話し合いの感想発表 T グループで話し合いをして、どのような感想をもちましたか。 C 男らしい、女らしいは、人によって考え方が違う。 C 男らしい、女らしいには決まりがないものもあると思った。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えて、ワークシート2に記入させる。 ・児童がワークシート2に書いた内容を板書することで、児童の見方や考え方を広げる。 ・男女それぞれの意識が理解できるよう、話し合うグループは男女混合とする。 ◎グループの話し合いに加わり、「男の子のよさは」「女の子のよさは」に言い換えて違和感があるかなどと助言する。(価値・態度) ・「男の子のよさ」「女の子のよさ」の板書を利用し、男女を置き換えても違和感がないことを確認する。 ・身体的な特徴など、男女の性差が明らかかなものもあることをおさえる。

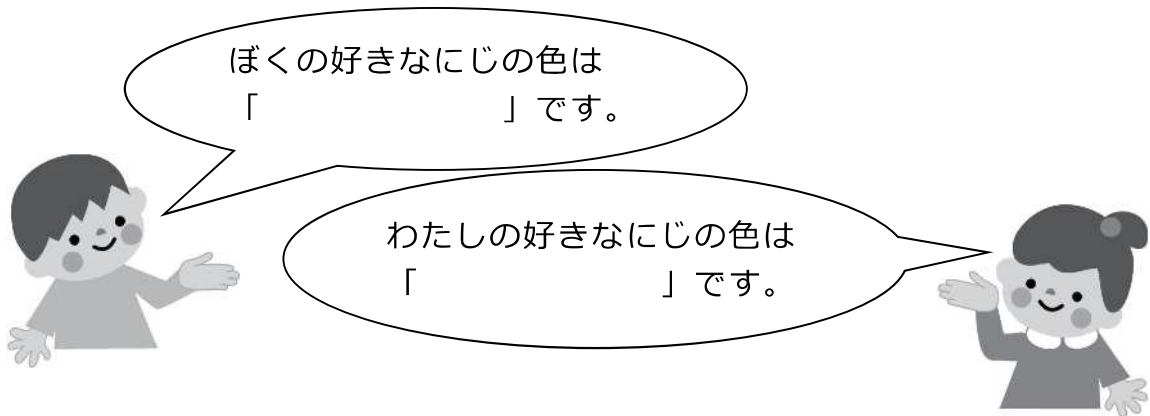
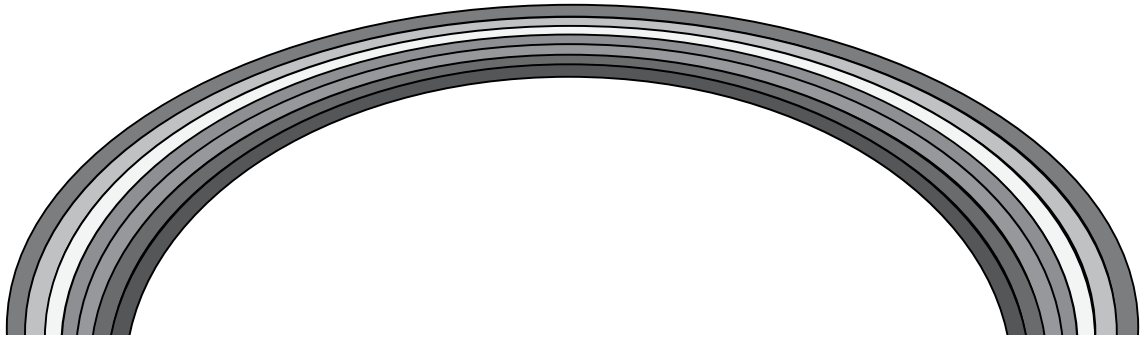
第1章 理論編
第2章 事例編
人間の尊厳
生命尊重
自己尊重の感情
共感と連帯感
公平・公正
多様性の尊重・共生
コミュニケーション
権利と責任
参加・参画
第3章 資料編

(2) ワークシート1

好きなにじの色は？

() 年 () 組 名前 _____

1 次の吹き出しに言葉を書きましょう。



入れる言葉
「赤色」「だいたい色」「黄色」「緑色」「水色」「青色」「むらさき色」

2 男の子の好きなにじの色を決めた理由を書きましょう。

3 女の子の好きなにじの色を決めた理由を書きましょう。

(3) ワークシート2

男らしさ、女らしさってなんだろう？

()年()組 名前 _____

1 次の文の続きを書きましょう。(いくつ書いてもかまいません。)

○男の子のよさは

○女の子のよさは

2 学習した感想を書きましょう。

V 出典・参考資料

- 「人権教育実践資料3 性の多様性を認め合う児童生徒の育成Ⅱ」
(平成30年3月) 倉敷市教育委員会

「属性」について考えてみよう

中学校・2～3年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）

＝【人権感覚育成のための視点】

性という属性について考え、性のあり方は多様であることに気付くことを通して、そうした互いの違いを認め合いながら、共生していくことができるようにする。

◇関連する個別の人権課題「様々な人権問題（性同一性障害をはじめとした性的マイノリティ）」

2 関連する教科等について

○学級活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

（ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成）

3 人権教育上の視点

（1）性のあり方などの多様性を尊重し、共生しようとする姿勢を身に付けている。（価値・態度）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

各自で、自分の属性について書き出し、このような属性は基本的にそれぞれ尊重されるべきものであることを確認する。

○活動2

ジェンダークイズを行い、無意識の思い込みをもっている場合があることに気付く。

○活動3

男らしさ、女らしさに関して視覚化する作業を行い、気付いたことについて話し合う。話し合いを通して、感じたことや発見できたことをまとめる。

2 準備するもの

- ワークシート1、2
- 提示資料（性のとらえ方）
- グラフ台紙（模造紙）
- シール2色（男子：黄、女子：緑）

3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「一人一人が尊重されるとは？」
 - ① 「今の自分」を表す上で必要な要素（年齢、性別、出身地、趣味、好きなもの、見た目、体質など）をワークシートに書き出す。
 - ② 書き出した要素の中から、公表しても構わないと思う要素の一つを選択する。
 - ③ 選択した要素をワークシート1の例文に当てはめ、どのような感じがするかを考える。（趣味「読書」は、「読書好き」とするなど、必要に応じて例文に当てはめやすいように語句を補って行う。）
- 活動2 「ジェンダークイズ」
 - ① ワークシート1の文章を読む。
 - ② どのような状況であるかを考え、意見交換をする。
- 活動3 「グラフ化を通しての話合い」
 - ① ワークシート2の質問に回答し、自分の点数を出す。
 - ② 黒板のグラフに、自分の得点をシールで貼って示す。
 - ③ A、Bが何を表すかを考え、意見交換をする。
 - ④ グラフを見て気付いたことを発表する。
 - ⑤ 性のあり方は、いくつかの要素から構成されていることを知る。
- 活動4 「振り返り」
 - ① 活動を通して、気付いたことや考えたことを振り返る。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 性の多様性について学ぶことを通して、「多様性の尊重・共生」の視点を育む構成であることに留意する。個人に関する属性は、一人一人異なっており、性だけでなく、それぞれ尊重されるべきものであることを押さえて指導する。
- 性の多様性については、性的にいわゆる少数派も多数派も性の多様性の一員として対等という視点に立って指導することが大切である。
- 例えば、ある程度、学級内の人間関係が構築された時期、あるいは家庭科などの授業内容に合わせて実践すると効果的である。

Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
10分	<p>1 一人一人が尊重されるとは？</p> <p>T 「自分はこんな人」と表す上で必要な要素を、ワークシート1に記入してください。</p> <p>T その要素の一つをワークシート1の例文に当てはめると、どのような感じがしますか。</p> <p>S 嫌だ。頭にくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・無理をせず、公表しても構わないと思う内容を書けばよいことを伝える。 ・教師が自分自身を例として、その要素の一つを当てはめて、例文を読み上げてもよい。 ・その人をその人として成立させている要素を「属性」と言い、これを否定することは人を傷つけること、属性は基本的にそれぞれ尊重されるべきものであることを確認する。
「属性」って何だろう		
30分	<p>2 ジェンダークイズ</p> <p>T ワークシート2の文章を読んで、どのような状況か、まず個人で考えてみてください。</p> <p>T 周囲の人と意見交換をしてください。</p> <p>S 訳が分からない。</p> <p>S 外科医には離婚歴があった。</p> <p>3 グラフ化作業</p> <p>T ワークシート2に自分の点数を書き、「A」「B」それぞれの合計点を出してください。</p> <p>T 黒板のグラフで、自分の点数のA軸とB軸の交差点に、シールを貼ってください。</p> <p>S 「A」「B」って何だろう。</p> <p>4 グラフを見ての話合い</p> <p>T 「A」「B」は何を表している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換後に、どのように考えたか生徒に発表を求める。 ・外科医が女性であることを伝え、無意識のうちに男性であるという「思い込み」をもっていることはないだろうかと投げかける。 ・グラフ台紙（模造紙）を黒板に貼り、教師も点数を付けて、グラフにシールを貼って見せる。 ・シールは男女で色分けする。（男子：黄、女子：緑） ・生活班や列ごとに、順番に黒板へ来てシールを貼るように伝える。 ・Aが「女らしさ」、Bが「男らしさ」

	<p>か、周囲の人と意見交換をしてください。</p> <p>S 「A」は女らしさ、「B」は男らしさ。</p> <p>T グラフを見て気付くことを小グループで話し合い、ワークシートに記入してください。</p> <p>T 気付いたことを発表してください。</p> <p>S 男子、女子、それぞれの中でもばらつきがある。</p> <p>S 一人一人みんな異なっている。</p> <p>5 性という属性についての確認</p> <p>T 性という属性について、男性と女性の二つという思い込みがなかったでしょうか。</p> <p>S 性は男女二つしかないと思っていたが、もっと多様だと分かった。</p>	<p>ではなく、そのように「言われているもの」ということを強調して確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人程度の小グループで話し合うようにする。 ・「オカマ」「オネエ」など差別的な意味合いを含む言葉が出てきた場合は、「それってどういうこと？」と聞き返し、こうした「属性」は尊重されるべきものであると授業の最初に確認したことを、必ず再度確認する。 ・グラフの中央付近の位置は「中性的」というとらえ方ではなく、自分の中にも「女らしい」「男らしい」と言われるものが混在しているととらえることを確認する。 <p>◎性のあり方は、実際にはグラフのように一人一人違っており、これも個人の属性の一つであることを確認する。(価値・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「提示資料(性のとらえ方)」を提示し、性のとらえ方には、四つの要素があり、それが組み合わさるため、多様であることを確認する。
<p>10分</p>	<p>6 振り返り</p> <p>T 今日の活動を通して気付いたこと、感じたことを、グループで出し合ってください。</p> <p>S 性という属性がこんなに多様だとは驚いた。一人一人の属性を大切にできるようにしたい。</p> <p>S 性のあり方は色々あり、みんなそれぞれ違うが、どれも大切にされるべきだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに自分の考えを記入した後、グループ内で共有をするように伝える。 ・時間があれば、ねらいに沿った感想を出しているグループが、その感想を発表し、学級全体で共有できるようにする。

IV 資料

(1) ワークシート1

「属性」について考えてみよう

() 年 () 組 () 番 氏名 ()

- ①「自分はこんな人」と表すために必要な要素を書き出してみましょう。
(年齢、性別、出身地、趣味、好きなもの、外見、体質など)

- ②上の要素のうち一つを、次の「○○」に入れてみましょう。
どんな感じがしますか。

「なんかあの人、○○っぽくない？(笑)」
「○○だってバレたら、みんなから引かれるよ。」
「○○の人って、なんか怖いよね。」

- ③下の文章を読んで、周囲の人と話し合ってみましょう。

大学病院に、ある腕利きの外科医が勤めていました。
ある日のこと、その医師が難しい手術を無事に成功させて手術室を出ると、看護師から緊急の連絡がありました。
「先生、交通事故にあった患者さんが、今、運ばれてきました。事故にあったのは、父親と息子さんの親子2人です。父親は重体、息子さんも大けがです。」
「わかった、すぐに行く！」
するとそこには、大けがをした男の子が横たわっていました。医師は、その男の子の顔を見た瞬間、驚いてしまいました。その男の子は、医師の息子だったからです！！
しかし、父親は事故にあって、確かに重体とのことでした。
これは一体、どういうことでしょうか？

(2) ワークシート2

それぞれの項目に点数をつけて、「A」「B」それぞれの合計点を出してみましょう。

[点数の付け方]

自分によく当てはまる(3点)、やや当てはまる(2点)、

やや当てはまらない(1点)、当てはまらない(0点)

A	得点	B	得点
優しい／思いやりがある		優しくない／思いやりがない	
部屋がきれい		部屋が汚い	
言葉づかいが丁寧		言葉づかいが汚い	
気が弱い		気が強い	
すぐに泣く		涙を見せない	
外見に気をつかう		外見に気をつかわない	
料理が上手		料理が下手	
力が弱い／軽い物を運ぶ		力が強い／重い物を運ぶ	
静か		うるさい	
おとなしい		活発	
機械に弱い		機械に強い	
平和的／おだやか		好戦的／暴力的／乱暴	
スポーツが苦手		スポーツが得意	
ピンク(のもの)が好き		青(のもの)が好き	
物事を決めるのに時間がかかる		決断力がある	
好きな人ができても自分からは告白しない		好きな人ができたら自分から告白する	
行儀がいい		行儀が悪い	
おごってもらう		おごる	
音楽が得意		音楽が苦手	
人を陰で支える／サポートする		リーダーとなって人を引っ張る	
子育てに向いている		子育てに向いていない	
合計		合計	

※伊田広行「はじめて学ぶジェンダー論」(大月書店、2004年、pp23-25)を参考に中学生用に作成

(3) 提示資料(性のとらえ方)

<性のとらえ方>

- ①からだの性
- ②こころの性
- ③好きになる性
- ④表現する性(服装や振る舞い等)

V 出典・参考資料

- 「ジェンダー・バイアスを問い直す授業づくりー『性の多様性』を前提とする中学校の性教育ー」(平成26年)埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要第13号

私も大切、あなたも大切

～多様性を尊重する社会に向けて～

高等学校・3年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）

＝【人権感覚育成のための視点】

資料の読み取りやグループでの話し合い活動を通して、様々な考え方や性のあり方（以下、セクシュアリティ）があることを知り、互いの違いを認め合いながら、価値観、生き方等の多様性を尊重することができるようにする。

◇関連する個別の人権課題「様々な人権問題（性同一性障害をはじめとした性的マイノリティ）」

2 関連する教科等について

○ホームルーム活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（エ 青年期の悩みや課題とその解決）

3 人権教育上の視点

- （1）多様な考え方やセクシュアリティを尊重しようとする。（価値・態度）
- （2）価値観や生き方等の多様性を尊重する社会を形成するために必要なことを考えることができる。（技能）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

グループ活動を通して、価値観の多様性の尊重について考える。

○活動2

グループ活動を通して、セクシュアリティの多様性の尊重について考える。

○活動3

個人活動やグループ活動を通して、セクシュアリティの多様性を尊重する社会について考える。

○活動4

本時の学習の振り返りをする。

2 準備するもの

- 学習資料
- ワークシート1、2
- 振り返りシート
- 付箋

3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「ランキング」
 - ① 個人でワークシート1のランキングに取り組む。
 - ② グループ内でランキングの理由について意見交換する。
- 活動2 「セクシュアリティの多様性」
 - ① 学習資料の資料②を参考に、グループでワークシート2を記入する。
 - ② グループで、セクシュアリティの組み合わせが何通り考えられるかについて話し合う。
- 活動3 「セクシュアリティの多様性を尊重する社会」
 - ① どのようなセクシュアリティの人も安心して生活するために必要なことを、各自で付箋に書き出す（学級の実態に応じてペアワークで行ってもよい）。
 - ② グループで付箋を分類し、分類ごとにタイトルを付ける。
 - ③ 全体でグループごとに発表する。
- 活動4 「振り返り」
 - ① 活動を通して感じたこと、気付いたことを振り返りシートにまとめる。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 個人の考え方の多様性と同様に、セクシュアリティの多様性についても尊重されるべきであることを理解させるようにする。
- セクシュアリティの多様性について考えさせる際は、性的マイノリティ（少数者）についてではなく、全ての人が多様なセクシュアリティを構成する1人であり、全ての人に関わる問題としてとらえさせる。
- 生徒個人がどのようなセクシュアリティであるのかは、「分からない」「決められない」「決めたくない」等の思いをもつ生徒や秘匿にしたい生徒もいるので、発表させたり、紙に書かせたりしない。

第1章 理論編
 第2章 事例編
 人間の尊厳
 生命尊重
 自己尊重の感情
 共感と連帯感
 公平・公正
 多様性の尊重・共生
 コミュニケーション
 権利と責任
 参加・参画
 第3章 資料編

Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
7分	1 ランキング「あなたにとって大切なものは？」 T グループで自分のランキングとその理由を発表しましょう。 T 特定のランキングだけが正しいと言われたらどのように感じますか。 S 特定の考え方を押し付けられるのは嫌だ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ランキングとその理由について意見交換することで、人によって様々な考え方があることを実感できるようにする。 ・考え方の多様性を否定される場面を想起させることで、自分の考えはもちろん、他の人の考えも尊重されることの大切さに気付けるようにする。
38分	2 セクシュアリティの多様性についての話し合い T 学習資料の資料②を参考にして、グループでワークシート2を完成させましょう。 T グループでセクシュアリティの組み合わせは何通り考えられるか、話し合ってみましょう。 S 資料②の図には12通りある。 S 人によって様々であり、人の数だけ組み合わせはある。 T 正しいセクシュアリティを一つに決めることはできますか。 S 人の考え方と同じで、一つだけに正解を決めることはできない。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料②を参考にしてワークシート2に記入させることで、セクシュアリティの多様性に気付くことができるようにする。 ・「認識できない人」「揺れている人」「変わる人」もいるように、<u>セクシュアリティは「男」「女」の2区分だけではなくグラデーションのように個人で異なることを説明する。(☆)</u> ☆以下のような図を示しながら説明してもよい。 <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">性的指向</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">女</div> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 2px solid black; position: relative;"> ? </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">男</div> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">性自認</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">女</div> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 2px solid black; position: relative;"> ? </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">男</div> </div> </div> </div> ◎セクシュアリティの多様性を尊重することの大切さに気付くことができるように、自分も多様なセクシュアリティを構成する一人であることや、1の活動を例に出しながら説明する。(価値・態度)

	<p>3 多様性を尊重する社会についての話し合い</p> <p>T どのようなセクシュアリティの人も安心して生活できる環境や社会をつくるために必要なことは、何でしょうか。付箋に書き出しましょう。</p> <p>T グループで、各自が書いた付箋を分類し、分類ごとにタイトルをつけましょう。</p> <p>T グループで出た意見を発表しましょう。</p> <p>S タイトル：「個人でできること」 個人のセクシュアリティを否定するような発言をしないようにする。</p> <p>S タイトル：「社会でできること」 社会全体で様々な性のあり方の人たちがいることを前提として、対応や環境づくりをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・考えがまとまらずなかなか書けない生徒には、思いつくままに自由に書き出してよいと助言する。 ・学級の実態に応じて、ペアワークで行ってもよい。 ・他者の意見を肯定的に受け止めながら、自由に発言して活動を進めるよう指示する。 <p>◎多様性を尊重する社会の形成のために必要なことを考えることができるようにするため、個人でできるレベルのことや、社会全体で取り組むこと等、様々な角度から考えるよう助言する。(技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正解を導き出すのではなく、各グループからより多くの意見を発表させるようにする。 ・各発表に対しては拍手を促したり、称賛をしたりすることによって、考え、発表し、聞く活動が重要であったことを理解させる。
5分	<p>4 本時の振り返り</p> <p>T 今日の授業で感じたこと、気付いたこと等を振り返りシートに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で発表させたり、振り返りの内容をまとめたものを後日配布したりすることで、個人の学びを全体の学びに広げる。 <p>※最後に、以下の内容を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ホモ」「レズ」などの省略形や、「おかま」「おねえ」などの言葉は差別的な意味合いを含んでいること。 ・カミングアウトの強制やアウティング（本人の許可なく他者に本人のセクシュアリティを伝えてしまうこと）をしないこと。

IV 資料

(1) 学習資料

資料①

セクシュアリティの4つの要素

身体の性別だけではない、その人自身の性のあり方のことを「セクシュアリティ」といいます。
セクシュアリティは、人間一人ひとりの人格に不可欠な要素の集まりです。その要素は、主に〈こころの性〉〈からだの性〉〈好きになる性〉〈表現する性〉の4つの要素で考えられます。

セクシュアリティ
(性のあり方)

<p style="text-align: center;">〈こころの性〉</p> <p>自分で自分自身の性別をどのように認識しているかという「性自認」を意味します。</p>	<p style="text-align: center;">〈からだの性〉</p> <p>外性器・内性器・性腺・染色体の状態や、性ホルモンのレベルなどから定められます。</p>
<p style="text-align: center;">〈好きになる性〉</p> <p>恋愛や性愛の対象となる性を表す「性的指向」(×嗜好・志向)のことです。自分で選んだものではありません。</p>	<p style="text-align: center;">〈表現する性〉</p> <p>服装や行動、振る舞いに、どのような性らしさが含まれるかを表します。</p>

これらの性は「男性」と「女性」と2つに分けて考えがちですが、現実には、明確に「男性」「女性」の2つに分けることができないものです。

たとえば、〈こころの性〉〈好きになる性〉〈表現する性〉については、「男性」「女性」だけでなく「両方」「中間」「どちらでもない」などということもあります。〈からだの性〉については、「男性」であっても「女性」であっても、様々な体の発達状態の人がいます。

また、自分のセクシュアリティが、認識できない人、揺れている人、変わる人もいます。このように、セクシュアリティは多様で、グラデーションのようなもの、一人ひとり異なるものです。

こころの性	男	女
からだの性	男	女
好きになる性	男	女
表現する性	男	女

これらの枠組みにあてはまらない人もいます

〈こころの性〉 × 〈からだの性〉 × 〈好きになる性〉 × 〈表現する性〉 = セクシュアリティ

資料②

セクシュアリティの多様性

セクシュアリティのそれぞれの要素について、便宜上、仮に「男性」と「女性」に二分したとしても、下図のようにたくさんのセクシュアリティが存在します。実際はこの図よりも更に多様なものです。

こころの性

からだの性

好きになる性

これらの枠組みにあてはまらない人もいます

セクシュアリティの例

- ◆ **異性愛（ヘテロセクシュアル）**
 〈こころの性〉と〈好きになる性〉が異なること
- ◆ **同性愛（ホモセクシュアル）**
 〈こころの性〉と〈好きになる性〉が同じこと
 〈こころの性〉が女性で〈好きになる性〉も女性の人…**レズビアン**
 〈こころの性〉が男性で〈好きになる性〉も男性の人…**ゲイ**
- ◆ **両性愛（バイセクシュアル）**
 〈好きになる性〉が異性の場合も同性の場合もあること
- ◆ **トランスジェンダー**
 〈こころの性〉と〈からだの性〉が一致しないこと
 〈こころの性〉が女性で〈からだの性〉が男性の人…**MTF (Male to Female)**
 〈こころの性〉が男性で〈からだの性〉が女性の人…**FTM (Female to Male)**
 *一定の医学的基準にあてはまる場合……………**性同一性障害(診断名)**
- ◆ **シスジェンダー**
 〈こころの性〉と〈からだの性〉が一致していること
- ◆ **Xジェンダー**
 〈こころの性〉が男女のどちらにも定まらないこと
- ◆ **性分化疾患**
 〈からだの性〉の発達が通常とされる状態とは異なること
 現在は医学的検査を受けて男性/女性に判別される
- ◆ **無性愛（アセクシュアル）**
 他者に対して恋愛感情や性的欲求を抱かないこと
- ◆ **クエスチョニング**
 自分のセクシュアリティが分からないこと、決められないこと、あえて決めないこと

レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの頭文字を取って**LGBT**といいます。
 この4つ以外のセクシュアリティも含めたセクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の総称としても用いられることがあります。

「ホモ」「レス」「オカマ」「オナベ」「おんなおとこ」「おとこおんな」といった言葉は、差別的な意味合いを含みます。呼称だけでなく、性的マイノリティ（LGBT）を「いないもの」とした冗談や無意識の発言に、発した本人に差別的な意思がなくても傷つく人がいるということを、心に留めておく必要があります。

「平成28年度新たな人権課題に対応した指導資料」（P27・28）
 （埼玉県教育局市町村支援部人権教育課）

2 様々な性のあり方（セクシュアリティ）

●性自認について

トランスジェンダー	〈こころの性〉に対し [] の性] に違和感をもつこと。 生まれた時にあてがわれた性を越えて生きること。 ※一定の医学的基準にあてはまる場合：「[]」 (診断名)
シスジェンダー	〈こころの性〉に対し [] の性] に違和感をもたないこと。 生まれた時にあてがわれた性のまま生きること。

●性的指向について

同性愛 (ホモセクシュアル)	〈こころの性〉に対し〈好きになる性〉が [] であること。 女性同性愛を []、男性同性愛を [] という。
異性愛 (ヘテロセクシュアル)	〈こころの性〉に対し〈好きになる性〉が [] であること。
両性愛 (バイセクシュアル)	〈好きになる性〉が [] の場合も、[] の場合もある こと。 「好きになる相手の性別は問わない」という意味で用いる人もいる。
無性愛 (アセクシュアル)	〈好きになる性〉が []、もしくはどこにも向かないこと。

(4) 振り返りシート

振り返りカード
氏名 ()
<input type="checkbox"/> 今日の授業で感じたこと、気付いたこと等を記入しましょう。

V 出典・参考資料

- 「平成28年度新たな人権課題に対応した指導資料」（平成29年3月）
埼玉県教育局市町村支援部人権教育課